



# 島田市の教育

「平成29年度全国学力・学習状況調査」からみえる島田市の子供

## 1 調査の概要

### ◇目的

- ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、授業改善を図る。
- ・本調査の結果を子供への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇実施日 平成29年4月18日（火）

◇実施対象 島田市内全ての小学校6年生と中学校3年生

### ◇調査内容

- ・教科調査（国語、算数・数学）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙



## 2 調査結果の概要

### （1）教科に関する調査結果

＜調査結果（平均正答率）を領域別にまとめました。＞

#### ＜平均正答率＞

全設問における正答数の割合を算出した値（個人の正答率）を足し合わせ、子供の人数で割った値



#### ＜記号の見方＞ 全国平均正答率と比べて

- |                  |                  |        |
|------------------|------------------|--------|
| ◎ : + 3 ポイント以上   | ○ : ~ + 3 ポイントまで | □ : 同じ |
| △ : ~ - 3 ポイントまで | ▲ : - 3 ポイント以下   |        |

## 国語

※小・中ともに全国と比べて高い正答率となつた。

学校種	問題別	全 体	領域別				伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
			話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと		
小学校	A問題	○	○	□	○	○	○
	B問題	○	○	○	○	○	
中学校	A問題	○	○	◎	○	○	○
	B問題	○	○	○	○	◎	◎

## 小学校国語 ☆成果 ☆課題

- ☆成果…漢字を書いたり読んだりする力は付いています。
- ☆成果…目的に応じて必要な内容や情報を読み取る力が付いています。
- ★課題…目的や意図、根拠を明確にして自分の考えを書いたり話したりすることに課題が見られます。

## 中学校国語 ☆成果 ☆課題



- ☆比喩や情景描写の効果について理解できています。それらを用いた表現を的確に読み取る力が伸びています。
- ☆国語が「好き」「分かる」と実感している生徒が増えています。
- ★慣用句やことわざの意味を理解し、文脈の中で使う学習や敬語を実際に使う場面を設定し、その有用感を実感できる学習に取り組む必要があります。

## 算 数・数 学

※中学校は全国と比べて高い正答率となった。  
小学校は全体としては全国と比べて（-2ポイント差程度）の正答率だった。

学校種	問題別	全 体	領域別			
			数と計算	量と測定	図 形	数量関係
小学校	A問題	△	△	△	△	○
	B問題	△	△	△	△	△
		全 体	数と式	図 形	関 数	資料の活用
中学校	A問題	○	○	○	○	○
	B問題	○	○	○	○	△

## 小学校算数 ☆成果 ☆課題

- ☆資料を読み取り必要事項を整理して表にまとめる力が、身についています。
- ☆小数や分数などの基礎計算力をより確実に定着を図る必要があります。
- ★根拠を持って考え、筋道を立てて説明する力に課題があります。

## 中学校数学 ☆成果 ☆課題



- ☆すべての領域の基本的な問題を解く力が身についています。
- ☆「図形」において、基本的な知識が身に付いており、筋道を立てて説明することができます。
- ★資料(表、グラフなど)から情報を読み取ったり、活用したりする力に課題が見られます。

## (2) 児童・生徒質問紙に関する調査結果からわかること



国語・算数・数学の学習は  
大切だと思う

自分には  
よいところがある

友達の話や意見を最  
後まで聞くことができる

学校に行くの  
は楽しい

授業で、話し合う活動を  
よく行っている

今住んでいる地域の  
行事に参加している

よい傾向

力を入れて  
いきたい

(小学校) 「国語が好き」  
(中学校) 「数学が好き」

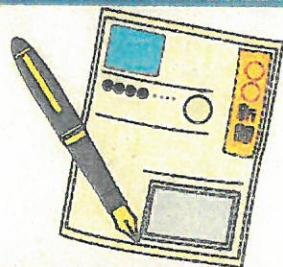
授業の最初に目標（ねら  
い・めあて）を示す

ボランティア活動に参加  
する

自分の考えがうまく  
伝わるように工夫し  
て発表する

授業の終わりに振り返る  
活動を行う

本や新聞を読む



## (3) 学校質問紙に関する調査結果からわかること



引き続き次の3点を意識して、子供が学びを実感でき  
るような授業を目指します。

- ①目標（めあて・ねらい）をはっきり示す。
- ②課題解決のための話し合い活動を取り入れる。
- ③授業の最後に、子ども自身が、何を学んだのかを理  
解できる振り返りの時間を確実に設定する。

学校教育活動全体の中で、子供たちに将来就きたい  
仕事や夢について考えさせる指導を充実させていき  
ます。

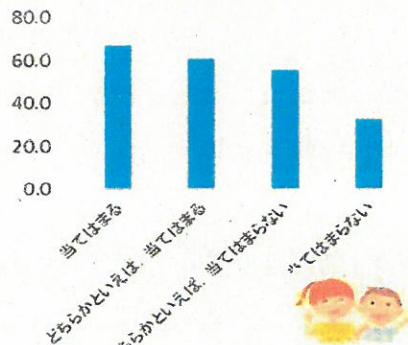


### 3 保護者のみなさまへ

昨年度と同様に、ものごとを最後までやり遂げてうれしかった体験がある子供の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。また、家人の人と将来のことについて話すことがある子供や、家庭学習で、自分で計画を立てて勉強することが身に付いている子供も平均正答率が高い傾向が見られます。

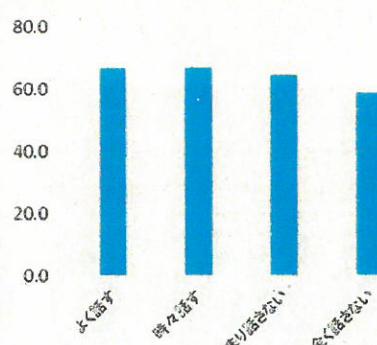
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」平均正答率との関係

小学校 正答率



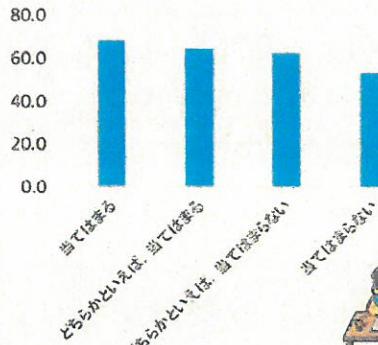
「家人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか」平均正答率との関係

小学校 正答率

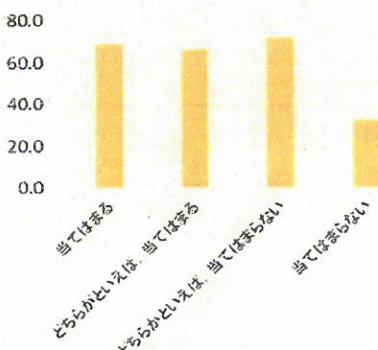


「家で、自分で計画を立て勉強していますか」平均正答率との関係

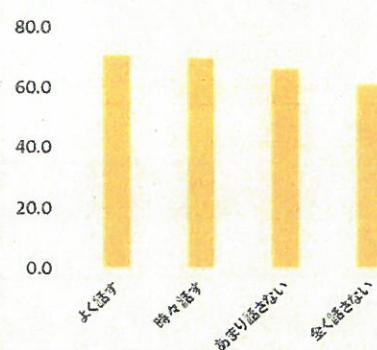
小学校 正答率



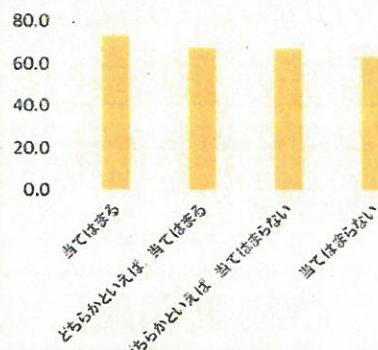
中学校 正答率



中学校 正答率



中学校 正答率



- ◇ものごとを最後までやり抜く体験ができるように、子供の活動を見守りながら、励ましたり認めたりしていきましょう。
- ◇日頃から、子供の夢や将来のことについて話す機会をつくりましょう。
- ◇家庭学習では、教科書やノート等を使って、授業で学んだことを復習したり、予習をしたりする習慣をつけましょう。
- ◇「ほめて伸ばす」「認めて伸ばす」ことを心掛けていきましょう。

島田市学力向上委員会では、学力向上のために、分析結果といいくつかの取組を各小中学校に示しました。

各小中学校からも「学力向上へ向けた学校の取組」を、自校の実態を踏まえて具体的にお知らせしています。これからも、島田市の子供に、確かな学力が身につけられるように努力をしていきます。